

終わりに・・・

【過去の美術館問題から】
見直しを求めた市民の方々から、約7万人もの署名が集まったにもかかわらず、横須賀美術館は建設されました。
当時、市議会議員が45名いましたが、市民の声を議会に届けたのはごく少数でした。
あとは建設費成したわけです。そうした事実があったにもかかわらず、横須賀市議会では
③「二元代表制の中で議員の役割と責任が増大している」
A「行政へのチェック機能低下」
C「市民の声を幅広く集約できない」といったことは当てはまらないのではないのでしょうか。

その他の削減理由については

- 議員意識の向上
- 議会の合理スリム化
- 審議の効率を図る

「私の考えでは議員定数の削減は断行すべきだと思います。」

横須賀生まれ横須賀育ち。さらに横須賀を良くするために行動を起こしました。皆様の声が議会へ届くように精一杯の努力を惜しみません。



2014年5月より横須賀市内の全駅にて駅頭活動を行っています。
そこで毎回多くの市民の皆様にご声援をいただいております。
この多くのご声援が私の活動の源となっております。引き続き皆様の声を中心に政策提言を行ってまいります。



山本けんじゅ後援会事務所

横須賀市大矢部2-2-9-3
TEL/FAX: 046 (890) 0265

山本けんじゅ応援団を募集しています。

山本けんじゅ 検索
[山本けんじゅ応援団Facebook]
<https://www.facebook.com/yamamotokenju>
ホームページ: kenju-yokosuka.com



今回のテーマは「議員定数削減について」です。

1981(昭和56)年 4月8日生まれ(33歳) 3月の1/19 大矢部「うなね」3代目大矢部中学校卒・横須賀市立工業高校(現横須賀総合高校)卒
帝京大学経済学部卒
日本代表としてアメリカ・キューバ・台湾などの国際大会等を経験
2003(平成15)年 読売ジャイアンツドラフト6位入団
引退後、コーチング熱のためオーストラリアに留学
2008年・・・㈱サンリツ入社(輸出業務担当)
2011年・・・㈱エレクトロデザイン入社(野球スクール運営)
同社勤務中、横須賀のスポーツ振興のために
NPO法人・ジャパンアスレチックアカデミー横須賀を立ち上げる・・・専務理事

山本けんじゅ

議員定数削減について

2014年11月28日の市議会本会議にて現行41議席のところ、4議席の削減案は4対35で否決されました。

〈議会での否決理由は・・・〉

- ①『人口40万人規模の中核都市の議員定数は40人台。横須賀だけが多いわけではない』
- ②『人口数で抜かれた藤沢との違いは米軍基地がある。』
- ③『二元代表制の中で議員の役割と責任が増大している。』

確かに他の自治体にはない基地という特殊事情、今後の地方創生での益々、地方議員の役割責任は大きなものになってきます。

そもそも議員定数自体は何名が妥当な人数か、という基準はありません。

そんな中で横須賀市の判断基準としては人口1万人に対して1議席としています。これを客観的根拠とすると・・・

| | 定数 | 人口(万人) |
|----------|----|--------|
| 横須賀市 | 41 | 40.7 |
| 枚方市(大 阪) | 32 | 40.8 |
| 柏市(千 葉) | 36 | 40.9 |
| 藤沢市(神奈川) | 36 | 42.0 |
| 町田市(東 京) | 36 | 42.6 |
| 金沢市(石 川) | 38 | 46.5 |
| 福山市(広 島) | 40 | 47.2 |
| 市川市(千 葉) | 42 | 47.3 |
| 西宮市(兵 庫) | 41 | 48.7 |

表1 2014年12月現在

他市と比べ横須賀市の定数は多いのではありませんでしょうか？

表1で他の40万都市を参考にすると、否決理由に①は当てはまらないと考えます。
仮に6名の削減が実現できれば、4年間で約3億円の財源捻出ができます。
小児医療費(27年10月より小6まで助成)に置き換えれば段階的に1学年を引き上げ、最終的に3学年引き上げ(中学3年生まで)が可能額に相当します。

人口流出が深刻な中、議員定数削減を断行し、子育て支援に予算を充てるのが出来れば、より良い街作り貢献できるのではないのでしょうか。

②の米軍基地への特殊性については特別委員会を常設しているわけではないので、議員数維持の理由には当てはまらないものと考えます。
この問題に関しては、数の議論ではなく、それぞれの議員が専門的な知識を持つべき必要があることの方が重要だと考えます。

議員定数はどこまで削減できるの？

地方自治法で規定している人口規模別の議員定数では、あくまでも上限を定めた上で、各自自治体は上限を超えない限り自由に定数決定できるとなっています。

表2 地方自治法第91条による定数規定

| 人 口 | 最大定数 |
|---------------------|------|
| 5万未満 | 26 |
| 5万以上10万未満 | 30 |
| 10万以上20万未満 | 34 |
| 20万以上30万未満 | 38 |
| 30万以上50万未満 | 46 |
| 50万以上90万未満 | 56 |
| 90万以上50万を40万超えること+8 | 最大96 |

でも20つでも法的にも30議席だということですか？



【定数削減による問題点】

- A『行政へのチェック機能低下』
- B『財政上の改善はわずかしかなできない』
- C『市民の声を幅広く集約できない』などの意見は幾つかの自治体への調査で出てきました。

Aの行政へのチェック機能については、横須賀市議会では議会放映もしています。
また、HP上での資料情報公開を行うことでカバーできるはず。
さらには、幅広く市民の方への傍聴会を増やす為夕方や土日の議会開催も行えば、市民の方によるチェックが行えることで機能低下を防げるのではないのでしょうか。

Bの財政上の改善は政策財源としたらわずかもかもしれませんが、1名1期(4年)当たり議員総額5200万円かかります。
一般的金額からしたら大きな額に相当するわけで使い次第では有効な行政サービス向上に繋がると考えます。

Cの市民の声の集約についてはメールやSNS等を大いに活用すれば市民の声は広く収集できます。議員自ら選挙前だけでなく、普段から街頭活動などを行えば市民の方と直に接する機会が多くなるはず。

私の提案する議員定数削減の最大の理由

としては、横須賀市の借金額が大きな上に、今後消費税増税により国民負担がかなり大きくなる事が予想されています。社会保障費・子育て支援への財源不足、人口減少による税収低下も深刻であるのに、なぜ削減しないのでしょうか？
民間では当たり前に行われているコスト削減を議会側が行わない理由は疑問に思います。

住民世論に対して議員自ら襟を正す姿勢を！